

編集後記：皆さんはお正月をどのように過ごされたでしょうか。私は年末の大掃除をした時に昔読んだ小説が出てきたので、自宅でのんびりとしながら引っ張りだしてきた本を読んでいました。その中の司馬遼太郎の「峠」の書き出しが改めて読み直してみると印象的でした。この小説は越後の冬支度の描写から始まっています。そして、主人公は江戸へ留学へ出るためにいろいろと運動をして出発します。そこまでして江戸へ行きたかった理由として、江戸の冬の青空が恋しかったからではないか、と書かれています。最初にこの小説を読んだとき（今から10年以上も前になります）はこの部分はそれほど印象には残りませんでした。

その理由の1つとして、私は関東平野の真ん中で育ち、冬の青空を当たり前のように感じていたから、というのがあると思います。その後豪雪地帯でこそありませんが、関東以外の所に住んだことにより、「必ずし

も冬は青空ばかりではない」ことが少しずつ分かってきました。

また他の理由として、当時は気象の勉強を始める前であったため、気象に関する描写にそれほど注意が向かなかつたからではないか、とも思います。気象について少しずつ学んでいくうちに視野が広がっていき、今まで気がつかなかったことにも気づくようになったのかもしれない。

気象は身近な現象を取り扱っていますが、身近なだけにかえって注意をしていないと見過ごしてしまうことが多いような気がします。少しずつでも気象に触れていくことで視野が広がっていき、思わぬところで新たな感動を得られるかもしれません。そして、気象に触れていくことに「天気」が役に立つことができれば、と思っています。これからも「天気」をよろしく願います。（石田純一）

「天気」編集委員会

編集委員長 新野 宏(理事)

編集委員 神沢 博(理事)・関口理郎(理事)

藤部文昭(理事)・石田純一

植田宏昭・小田切さやか

大淵 濟・金田昌樹・川島正行

木下 仁・小出 寛・小司禎教

佐藤晋介・住 明正・関山 剛

田口晶彦・高橋 宙・高山 大

寺坂義幸・中西幹郎・中村 尚

新村典子・板東恭子・別所康太郎

水野孝則・水野 量・山本 哲

地区編集委員 北海道 若原勝二・向川 均

東北 小柴 厚・早坂忠裕

関東 河原幹雄・竹内 仁

中部 永尾一平・井上長俊

関西 和田高秀・山中大学

九州 金崎 厚・中島健介

沖縄 仲大安英

編集書記 遠藤和子